

上海環球金融中心 「過去50年間で最も影響力のある高層ビル50棟」に選出

この度、森ビルグループが中国・上海で運営する上海環球金融中心（Shanghai World Financial Center、2008年竣工）が、高層ビル・都市居住協議会（Council on Tall Buildings and Urban Habitat/本部：米国・シカゴ、以下CTBUH）より、「過去50年間で最も影響力のある高層ビル50棟（The 50 Most Influential Tall Buildings of the Last 50 Years）」に選出されました。

CTBUHとは、持続可能な社会発展や高層ビルに関する技術・知識の発展などを目的として、世界の建築・構造・エンジニアリングの専門家等によって1969年に設立された国際非営利団体であり、今年で設立50周年を迎えます。

この度、CTBUH設立50周年を記念して、過去50年間に世界中で建設された数多くの高層ビルの中から、その象徴性や周辺環境・景観との調和性、地球環境への配慮、構造の革新性などの観点から、最も影響力のある50棟の高層ビルが選定され、世界各国の名だたる高層ビルと共に、上海環球金融中心が選出されました。

CTBUHのCEOであるアントニー・ウッド氏は、選出された50の高層ビルに関して、「これらのビルは、高層ビルの歴史においてマイルストーン的な役割を果たすものばかりです」とコメントしています。

上海環球金融中心以外には、同じく発展著しい上海・浦東新区陸家嘴エリアに位置する金茂タワー（1999年）や上海中心（2015年）をはじめ、トランスアメリカ・ピラミッド・センター（米国・サンフランシスコ、1972年）、ウィリス・タワー（米国・シカゴ、1974年）、台北101（台北、2004年）、ブルジュ・ハリファ（UAE・ドバイ、2010年）、マリーナベイ・サンズ（シンガポール、2010年）、ザ・シャード（英国・ロンドン、2013年）、ワン・ワールドトレードセンター（米国・ニューヨーク、2014年）などが選出されています。

なお、上海環球金融中心は、2008年にCTBUHより「Best Tall Building Worldwide（世界最優秀高層ビル）」と「Best Tall Building Asia & Australasia（アジア/豪州地区最優秀高層ビル）」の認定を受けており、2018年には「10 Year Award（10年間の功績を讃える賞）」を受賞しています。

当社は、「都市を創り、都市を育む」という思想のもと、東京で培ってきた都市づくりのノウハウを活かし、「上海環球金融中心」を育ててまいりました。引き続き、アジアを代表する金融センターとして、周辺施設との連携によるエリアマネジメントを推進することで、上海市のさらなる磁力向上に貢献してまいります。



上海環球金融中心
(Shanghai World Financial Center)

【本件に関するお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 三品

TEL：03-6406-6606

FAX：03-6406-9306

E-mail：koho@mori.co.jp